

いぶりの水産業

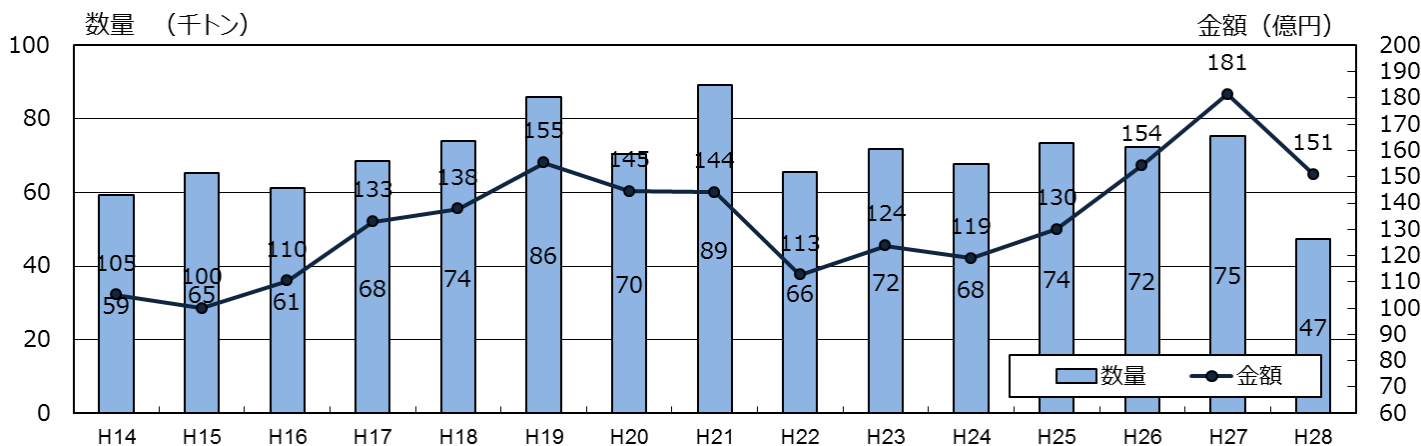
胆振の概況 2018

- 胆振管内は、噴火湾海域・太平洋海域と特性の異なる2海域に面し、噴火湾海域では、ほたてがい養殖業が、また、太平洋海域では、すけとうだら刺網、さけ定置、ほっき貝漁業が大宗漁業となっています。
- 平成28年の管内の漁業生産高は、数量で約4万7千トン、金額で約151億円であり、金額では全道の約5%を占めています。
- 魚種は、スケトウダラ、ホタテ貝、サケ、ホッキ貝の漁獲が中心であり、この4魚種が管内漁業生産に占める割合は、数量で82%、金額では71%となっています。
- 水産資源の増大に向けて、マツカワやウニの種苗放流が継続して行われており、室蘭市にある「栽培水産試験場」では栽培漁業の技術開発の研究が進められ、また、伊達市にある「えりも以西海域栽培漁業拠点センター」では、マツカワ種苗生産に取り組んでいます。



<ほたてがい養殖業>

●生産量・生産額の推移



●魚種別生産量 (平成28年) (単位: トン)

種別	胆振管内計		噴火湾海域		太平洋海域	
	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)
スケトウダラ	20,150	42.7	590	3.7	19,560	62.1
ホタテガイ	14,212	30.0	13,996	88.2	216	0.7
サケ	3,128	6.6	848	5.3	2,280	7.3
ホッキガイ	1,440	3.0	0	0.0	1,440	4.6
ケガニ	237	0.5	22	0.1	215	0.7
シシャモ	56	0.1	0	0.0	56	0.2
その他	8,096	17.1	428	2.7	7,668	24.4
計	47,319	100.0	15,884	100.0	31,435	100.0

●魚種別生産額 (平成28年) (単位: 千円)

種別	胆振管内計		噴火湾海域		太平洋海域	
	生産額	構成比(%)	生産額	構成比(%)	生産額	構成比(%)
スケトウダラ	2,705,632	17.9	58,322	1.0	2,647,310	28.5
ホタテガイ	5,076,800	33.8	4,988,785	86.0	88,015	0.9
サケ	2,102,546	13.9	467,413	8.1	1,635,133	17.6
ホッキガイ	849,851	5.6	0	0.0	849,851	9.1
ケガニ	752,496	5.0	69,624	1.2	682,872	7.4
シシャモ	92,707	0.6	0	0.0	92,707	1.0
その他	3,506,148	23.2	213,713	3.7	3,292,435	35.5
計	15,086,180	100.0	5,797,857	100.0	9,288,323	100.0

●胆振管内図 (漁協・漁港位置図)

